

核物質防護に関する不適合情報

2024年7月8日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件
2. 公表区分Ⅱ 0件
3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、ケーブルの引き抜き作業を行っていたところ、誤って当該検知器の電源スイッチに触れ、電源供給が停止したことから、電源スイッチを入れなおし正常な状態に復旧した。 また当該工事の作業要領書を見直し、関係者に周知した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2023/12/11	

4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉の一部機能が、正常に動作せず、扉が開かないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、カメラ交換作業時に誤って当該扉の電源スイッチに触れ、電源供給が停止したことから、電源スイッチを入れなおし正常な状態に復旧した。 また当該工事の作業要領書を見直し、関係者に周知した。	2024/1/19	
2	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/5/29	
3	侵入検知器の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2024/5/31	